平成26年度「くまもと・わくわく基金」では、分野指定助成事業に14事業、スタートアップ助成事業に5事業、合計19事業に助成を行いました。

分野指定助成事業

くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会

【助成事業名】高齢者にもベロタッチ～口腔機能を維持して誤嚥と認知機能の低下を防ぐ～

【助成金額】 190,000 円

(高齢者用ベロタッチ説明書の作成及び研修事業)

乳幼児に対する口腔機能発達支援として、ベロタッチの普及を進めたところ、高齢者の口腔機能低下防止にも効果がある可能性が高まりました。舌の機能を維持し、発語や嚥下機能の低下を防止することは認知症の防止にも有効ではないかという声を受けて、高齢者や高齢者施設等に配布できる冊子の作成と研修事業を行い、普及啓発を図ることができました。

具体的には、高齢者用のベロタッチ説明書作成会議を6回、研修会を4回、地域高齢者の集まりや施設でベロタッチを実践し、効果検証を行いました。また、説明書を関係施設等へ配布し普及啓発に努めました。

NPO法人 成年後見安心サポートネット熊本

【助成事業名】成年後見無料相談事業ならびに広報啓発事業

【助成金額】 200,000 円

(成年後見無料相談会の開催及び宣伝広報活動)

高齢者や障がい者で低所得者の無料相談を行い、社会的弱者といわれる方々の権利、また、判断能力が不十分となった高齢者や障がい者の方々の生活を守り、人権を擁護することを目的に、成年後見無料相談会並びに出張無料相談会を「ウェルパル・あいぼーと」、「高齢者施設あいこう」にて合計23回開催しました。また、福祉施設へのチラシ配布や新聞広告などにより、事務所への問い合わせや相談件数も増えており、成年後見制度の周知も徐々に広がっています。

妊娠・出産・子育て情報ネットワークうみ・つき

【助成事業名】心と体の癒し方・直し方講座

【助成金額】 250,000 円

妊娠・出産・子育てをする母親を対象にセルフケアを学ぶ活動を行ってきました。もっと深く学びたいと助産師、保健師、教職員、医療従事者、セラピストなど専門職の方が受講し実践的な技術と知識を身につけそれぞれが現場にて活かすことができ、熊本市民が心身ともに健やかで幸せな日常を過ごすためのサポートをおこないました。予防医学的な側面から経済負担となっている医療費の削減に影響を与えることができると思われれます。

NPO法人 しらさぎ

【助成事業名】 熊本城石垣除草・清掃ボランティア活動

【助成金額】 158,302 円

歴史と文化の象徴でもある熊本城。その特徴の石垣美を保全する意味から独自で除草清掃活動を行っています。この活動は、案内した各学校や職場でも盛んに取り組んでおられます。高所作業箇所以外は誰でも参加できる活動をPRすることで市民の皆さんにも浸透し、協働作業がますます普及することが期待できます。総勢229名参加された石垣除草や城内清掃で収集作業の成果は大型ビニール袋80袋(400kg)になりました。環境保全活動が町づくりの一環としてお役に立てることができました。

特定非営利活動法人 子ども夢工房

【助成事業名】 親子でつくる「親守詩(おやもりうた)教室」と日本の伝統文化にふれる「子ども百人一首教室」

【助成金額】 180,000 円

「親守詩」を親子でつくったり、「百人一首」を体験したりする事業を通して、参加者の親子の絆を深め、日本の伝統文化にふれることを目的に、「第2回親守詩熊本県大会」、「第11回五色百人一首熊本市大会」、「子ども親守詩・五色百人一首教室」を実施し、子から親へ、親から子へメッセージを送り合い、親子の絆を深めることができました。また、「親子の絆を深めること」、「日本の伝統文化にふれること」のため、熊本市民に向けた新聞を作成し、「親守詩」を知ってもらえました。

特定非営利活動法人 熊本子ども囲碁普及会

【助成事業名】 児童クラブにおける囲碁普及モデル事業

【助成金額】 214,000 円

(囲碁の指導者派遣、碁盤・テキスト代等)

学童の育成に囲碁普及で寄与したいと考え、モデル校での活動を通じて「役に立つ囲碁」を知ってもらい、ネットワーク創りにつなげることを目的に、熊本市の向山小、白川小、清水小、桜木小、飽田南小、託麻原小、尾の上小の7小学校で囲碁のルール、石のとり方、逃げ方や勝負の決め方などを指導し、囲碁の楽しさ知る子どもを増やすことができました。この囲碁普及活動により、囲碁の効用や当団体の存在が知られるようになり、また、熊本市の教育委員会を通じて市内の75小学校に「熊本子ども囲碁便り」を配布しネットワーク創りを図りました。

NPO法人 熊本どんぐり

【助成事業名】生活困窮状態にある人を支援する事業

【助成金額】 100,000 円

(貧困家庭児童の学習支援及び体験学習)

刑務所を出所した場合など前科がある人は、自他共に社会的なハンディを背負っており、そのために生活困窮状態に陥りやすいと言えるでしょう。当法人は、そのような人を一市民としての生活を営むことができるように支援し、再犯防止を目指すとともに、生活困窮状態は世代間に連鎖する傾向が認められるので、困窮家庭の児童へ学習支援を行い、貧困の連鎖を防ぎました。

具体的には、小学4年生から中学3年生までを対象に、大学生のボランティアによる学習支援事業を98回実施するとともに、農業体験、調理実習の体験学習を実施しました。

特定非営利活動法人 武田流流鏑馬保存会

【助成事業名】伝統文化の保存および振興・子供の健全育成を図る推進事業

【助成金額】 100,000 円

(「やぶさめ少年塾」の実施及び広報活動)

熊本県重要無形文化財である武田流騎射流鏑馬を郷土の文化として、後世に継承するため、若手後継者の一助となるよう「やぶさめ少年塾」を実施しました。「やぶさめ少年塾」は、一般公募した小学4年生から中学2年生までの16人(8期生)を対象に、武田流流鏑馬の歴史、日常生活での作法・礼法、弓道の基本、乗馬体験、木馬を使った騎射について、計14回の稽古を通して指導を行いました。また、ポスターやチラシを印刷配布、新聞広告の掲載などにより、平成27年度9期生の募集活動を行いました。

やぶさめの精神である「天下泰平、万民息災、五穀豊穰」の考え方をはじめ、熊本市の伝承文化を子供とその保護者に紹介することで理解者を拡大し、稽古や講義を通し友達と仲良くすること、礼節を重んじること、食べ物を大事にすることなど、礼儀作法や教養が身につくこと、子供の健全育成の一助となりました。

NPO法人 龍田共育ネットワーク

【助成事業名】自治協議会とNPOが協働する校区コミュニティーカレンダーづくりでまちづくり推進

【助成金額】 450,000 円

(校区コミュニティーカレンダーづくり)

熊本市が政令市となり各区、各校区が新たなまちづくりを模索しながら進めています。そのためにはまちづくりの中心的な役割を担う自治会や各種団体が連携し、地域住民がコミュニケーションを図りながら生活に必要な情報を共有する事が大切です。そこで熊本県内で最も児童数が多い龍田校区をモデルケースとし校区自治会やPTA、各種団体が情報交換しながらまちづくりを推進するために、コミュニティーカレンダーづくりを行いました。具体的には、コミュニティーカレンダーのテンプレートや資料作成等についての会議・説明会を計11回開催しました。作成に当たり、地域の自治会ははじめ各種団体の様々な課題も認識でき、同カレンダーの様々な行事の日程調整や内容の認識を深めるなどの効果がありました。

白山校区社会福祉協議会

【助成事業名】「つながろう白山～みんなで元気」健康まちづくりへの取り組み

【助成金額】 110,000 円

(校区単位の健康まちづくりの開催)

今回の事業は多くの校区団体や事業所、行政の協力を得て開催されました。朝の部はわくわくウォーキング、昼の部は健康づくり無料体験コーナー等、保育園児から80歳以上の方まで幅広く参加者が集まりました。幅広い年代の方々がウォーキングをしたり、健康コーナーに参加したことで個人の健康について、意識の向上だけでなく町全体で健康を考えていこうと意識の向上もできました。今まで関心の薄かった保護者世代からも参加を得、多くの住民がイベントに参加したことで、皆で一緒に楽しみながら健康への意識向上が図れました。

NPO法人 日本防災士会・熊本県支部

【助成事業名】地域市民とNPOとのコラボDE安産安心なまちづくりの巡回出前講座

【助成金額】 220,000 円

(災害図上訓練及び避難所運営ゲームによる地域の防災力を高める事業)

日本防災士会・熊本県支部は防災士の有志で構成するネットワークであり、地域市民に密着した“自助”“共助”“公助”を活動指針とし、各種災害時には、いち早く現地に赴き被災者支援・被害地支援及び復興支援活動を行います。今年度、市内各地に出向き災害図上訓練(DIG)や避難所運営ゲーム(HUG)の巡回出前講座を開催し、幅広い防災啓発活動を通じて、団体、企業、自治体や自主防災クラブ又は町内会と密に連携し、地域の安産安心の実現に努め、地域防災力の向上を図りました。

with women

【助成事業名】産後リハビリテーション概念普及による生活の質（QOL）向上への取り組み

【助成金額】 100,000 円

（講演会の開催）

産前より母親側のケアを充実させることで、母親の不安や悩みを軽減し心身ともに安定した状態で子育てが行えるような対策が急務であると考え、年6回の講習会を軸にした一般及び医療従事者への産前産後リハビリテーション概念の発信、推進図りました。そのことが生活の質（QOL）向上へと繋がり、女性が過ごしやすい生活環境を整えるべく活動を行いました。

くまもと発達支援親の会「めだか」

【助成事業名】発達障害の子ども達の感覚統合「クリスマス会」

【助成金額】 50,000円

（体育館で5種の感覚統合ゲームクリスマスお楽しみ会）

子どもたちの中には、外からの感覚刺激を上手に整理することが難しく情報が混乱する子どもがいます。この状態をできるだけスムーズになるよう運動で働きかけることを感覚統合といいます。年に1度のクリスマス会は大規模な感覚統合ゲームで子供たちの達成感や喜びは格別でしたと、参加の保護者様からは多くの声を頂きました。子供たちは物的及び人的補助に守られて、おもいっきり体を動かして多くの感覚、成功を体験できました。また療育に携わっておられる先生方、福祉や教職を勉強中の学生さんと保護者との交流を図り学校や家庭でも応用できるよう学びました。

NPO法人 ル・シエルくまもと

【助成事業名】コミュニケーションにも必要な声の出し方を正しく学ぶ事業

【助成金額】 100,000 円

（体を使ったボイストレーニングの体験会）

声を出すことにより必要な筋肉の使い方や呼吸法を身につける事で、心身の活発化をめざすとともに、明瞭な発音を習得することにより、コミュニケーションスキルを身につける事を目的に、声優の神谷明さんを招いて、体を使ったボイストレーニングの体験会を開催しました。また、熊本在住のボイストレーナーによる入門編講座と、トレーニング後のコーラス練習を3回実施しました。参加者のほとんどがボイストレーニングは初めてであり、「声を出す」「発声する」という仕組みを学び、普段とは違う声を出す経験ができ、一人ではできないが一緒に大声を出す体験を楽しむことができました。

Human Life Support of MUSIC BAND 絆 ボランティア会

【助成事業名】 生バンド演奏による高齢者福祉施設に対する音楽出前ミニコンサート活動事業

【助成金額】 100,000 円

熊本市内の高齢者施設にて60回開催した音楽出前ミニコンサートにおいて、高齢者福祉施設を利用されている高齢者の皆様方に、あまり見たことの無い音響機材、楽器、その設営などを直に見てもらい、楽しんで頂くとともに、高齢者の方々にとっては出かける機会が少なくなったコンサートに出かけた気分になってもらい、若かりし頃に聞いたクオリティーの高い昭和歌謡、季節の童謡を聞いてもらう事により楽しかった思い出など昔を振り返り楽しんでいただきました。また、団体のパンフレット及びポスターを作成し、高齢者福祉施設に配布することで、より多くの熊本市民の皆様方に周知することができました。

発達障がいの架け橋 にじのポンテ

【助成事業名】 発達障害者・支援者応援セミナー

【助成金額】 100,000 円

(講演会の実施)

現在、発達障害が社会的にクローズアップされていますが、まだ認知度が低いのが現状であり、多くの方に発達障害のことを知っていただき、発達障害児を持つ家族の方や支援者等、同じ境遇の方を励ましたいとの思いで、今年度「男女共同参画センター はあもにい」にて2回、「熊本市市民活動支援センター あいぽーと」にて2回、合計4回の講演会事業を実施し、合計111名の参加をいただきました。

参加者からのアンケートでも共感を得られた方々が多く、発達障害への理解が深まりました。

ボランティアグループ「熊本のおもちゃ病院」

【助成事業名】 「治療代」は子どもの笑顔の「おもちゃ病院」

【助成金額】 79,000 円

(「おもちゃ病院」を開催することでメンバーの生きがいや老化防止につなげる事業)

壊れたおもちゃをボランティアで修理する「おもちゃ病院」を、常設会場などで開催することで、子供に物を大事にする心や科学技術への関心を持ってもらい、また、これまでに培った知識技術を子供とのふれあいに活かせることでメンバーの生きがいや老化防止につながりました。

平成26年度「おもちゃ病院」を3か所の常設会場で25回、要請されて参加したイベントで3回、合計28回開催し、306件の修理依頼を受けました。

毎月の活動やメディアでの活動紹介により、「おもちゃ病院」の認知が進んだことが、修理依頼数の増加につながり、メンバーの増員も図ることができました。

がんばりっこ仲間・熊本

【助成事業名】 がんばりっこ仲間・熊本

【助成金額】 100,000 円

保健師や病院、療育関係者、行政の関係者が連携し、未熟児・障害児・病児の親と応援団が出来るイベントを開催しました。専門職の方や親同士の情報交換や相談ができ、子育てに関する知識と技術を向上し、母親自身が活躍できる場を作り、子育てで孤立しがちな状況を解消するため地域や社会とのつながりが持てるよう支援しました。このような支援の必要性をホームページやSASで熊本から全国に発信し、大きな反響を得ることができました。

上熊本商栄会青年部

【助成事業名】 歴史が息づくまちづくり推進事業

【助成金額】 100,000 円

(夏目漱石像のスーツと和服、散策マップの作成)

上熊本は熊本の中心街に隣接し、市電、JR、熊本電鉄、バス等々、交通の便がよく、また、夏目漱石、小泉屋雲などの文豪にゆかりのある歴史が息づくまちであり、「森の都くまもと」の名言の発祥の駅「上熊本駅」などの観光資源を活かし、薄れつつあるまちの活気を取り戻すために次の事業を行いました。

1.上熊本駅前の夏目漱石像に着せるスーツ、和服の作成

上熊本駅前にある夏目漱石像にスーツと和服を作成し着せることで話題性を持たせ、これを起点に上熊本駅やわが輩通り、京町、新坂、坪井旧居などの熊本市及び上熊本界隈の観光資源のPRを行いました。

2.上熊本界隈の散策マップ作成

上熊本界隈の散策マップ1000部を作成し、上熊本界隈の店舗や観光案内所、漱石ゆかりの名所へ配布し、上熊本駅やわが輩通り、京町、新坂、坪井旧居などへの回遊性の向上を図りました。

この事業を行ったことで、上熊本界隈をはじめとする夏目漱石ゆかりの地への観光客の増加や「森の都くまもと」の愛称の周知強化が見込め、来る夏目漱石記念年に向け熊本市の観光、文化の振興へ寄与できたものと考えます。